

平成 30 年度社会福祉法人修倫会事業報告

I 事業の概要

平成 30 年度事業計画に基づき、経営事業である「松柏園」(就労継続支援 B 型事業)、「みずき園」(就労継続支援 B 型事業及び共同生活援助事業)、「あすリード本舗」(就労継続支援 A 型事業、就労移行支援事業及び就労継続支援 B 型事業)、「チャレンジドセンター久慈」(障害者就業・生活支援センター事業及び相談支援事業)の 4 事業所が相互に連携・協同し、利用者サービスの充実と地域福祉の向上に努めた。

松柏園 B 型事業は、平成 30 年度障害福祉サービス報酬改定で目標工賃達成加算が廃止になった影響により給付費収入が大幅に減少したが、施設利用状況が高い利用率で安定して推移したことにより収益が確保された。就労支援事業においては、燃料費の高騰や高額修繕費の発生により収益が圧迫されたが、経費節減の工夫と営業努力により回復し、平均工賃が初の 3 万円台となり目標額と前年度実績を上回った。

みずき園 B 型事業は、他の日中サービスを併用している利用者や疾病等の理由による長期欠席者がおり、不安定な利用状況が続いたが、新規利用者の受け入れにより、利用率、平均利用者数ともに微増となった。就労支援事業においては、夏季・冬季の菓子ギフト販売の営業方法を見直し、一般家庭への戸別訪問販売を中止し、一般企業・団体等への営業販売を継続した。また、県北広域振興局農政部が所管する農福連携モデル事業へ昨年に引き続き参加し、ほうれん草農家での施設外就労に取り組んだ。

グループホームは、4 月に新規利用者を受け入れ定員を充足したが、5 月に 1 名が利用終了し、以後入退所の動きなく推移した。利用者の疾病、加齢に伴う心身状態の変化に伴い複数の日中サービスを併用する利用者が増加しており、ご家族、各サービス提供事業所や関係機関と連携し支援を行った。また、水害時の避難確保計画を作成し、浸水想定区域に立地する 2 ホームの避難訓練を実施した。

あすリード本舗は、経営健全化のため、「あすリード本舗事業変更計画」に基づき就労継続支援 A 型事業及び就労移行支援事業を 9 月末日をもって廃止し、10 月 1 日より就労継続支援 B 型事業(定員 20 名)を開始した。就労継続支援 A 型利用者の希望に添い、一般就労支援並びに就労継続支援 B 型の利用支援に努めた結果、3 名が一般就労(平成 29 年度就職者 1 名を含む)、1 名が他法人 B 型事業、19 名があすリード本舗の B 型事業に移行した。また、就労移行支援事業利用者 1 名は松柏園 B 型事業に移行した。

あすリード本舗 B 型事業は、定員 20 名に対して 19 名の利用者で、施設利用率も 93%と安定していたが、新規開設時の低い給付費適用により財政面では厳しい状況が続いた。就労支援事業においては、利用者数の減少に伴いせんべい製造を中止するなど作業内容の見直しを行った結果、売り上げとしては前年を下回ったが、就労支援事業収支はプラスに転じ、B 型転換の効果がみられた。平均工賃も 3 万円台となり、目標の 2 万 5 千円を大幅に上回った。経営改善に向けては、利用者の確保が喫緊の課題である。

チャレンジドセンター久慈は、障害者就業・生活支援センター事業及び相談支援事業ともに順調に推移した。サービス等利用計画作成件数が増加傾向にあり、相談支援専門員の育成と確保が課題である。

II 法人の運営

今年度は社会福祉法人制度改革後の新たな制度に基づき、評議員会、理事会の開催及び監事監査、会計顧問による月次会計監査を実施し、適正な法人運営に努めた。

1. 評議員会の開催状況

回	開催日	内 容
第1回 臨時	4月12日	あすリード本舗事業変更計画の策定について（報告） あすリード本舗事業変更計画の進捗状況について（報告） 平成30年度事業計画について（報告） 平成30年度予算について（報告）
定 時	6月21日	平成29年度事業報告について（報告） 平成29年度決算について 定款の一部変更について

2. 理事会の開催状況

回	開催日	内 容
第1回	5月30日	経理規程細則別添1「共通経費の配分基準表」の一部変更について（報告） 平成29年度事業報告について 平成29年度決算について 定款の一部変更の提案について 平成30年度定時評議員会の招集について 平成30年度第1次補正予算について
第2回	7月18日	あすリード本舗事業変更計画の進捗状況について（報告） 土地賃貸契約の締結について（報告） 寄付の受け入れについて（報告） あすリード本舗運営規程の全部変更について 経理規程の一部変更について 平成30年度第2次補正予算について
第3回	11月29日	理事長等職務執行状況の報告について（報告） あすリード本舗事業変更計画の進捗状況について（報告） 平成30年度第3次補正予算について
第4回	3月25日	理事長等職務執行状況の報告について（報告） 平成30年度障害福祉サービス事業者等の実地指導の実施結果について（報告） 虐待事案の発生と対応について（報告） 平成30年度第4次補正予算について 経理規程の一部変更について 就業規則の一部変更について

		松柏園運営規程の一部変更について あすリード本舗従業員就業規則の廃止について 平成 31 年度（2019 年度）事業計画について 平成 31 年度（2019 年度）予算について
--	--	---

3. 監事監査

監査等	開催日	内 容
決算監査 出納調査	5 月 23 日	平成 29 年度事業報告及び会計監査 1 月～3 月までの会計執行状況
出納調査	8 月 27 日	4 月～6 月までの会計執行状況
	11 月 26 日	7 月～9 月までの会計執行状況
	2 月 27 日	10 月～12 月までの会計執行状況

4. 会計顧問による月次会計監査

会計顧問「税理士法人つばさ会計」による月次監査を毎月実施し、1 か月毎の会計・経理を明らかにし現況を把握した。

委嘱契約の内容 （1）会計顧問 （2）決算監査 （3）税務顧問

5. 福祉サービスに係る苦情解決事業

（1）苦情解決体制

各施設ごとに苦情受付窓口を設置し利用について広報と啓発に努めた。又、施設行事である忘年会やミズキまつりに第三者委員が参加し情報交換を行った。

（2）苦情受付

苦情解決規程に基づく苦情受付はありませんでした。

6. 虐待防止の取り組み

（1）虐待防止対応体制

虐待防止対応責任者、虐待防止受付担当者、第三者委員を配置し、利用者に対する虐待防止を図るとともに、利用者の人権を保護し、健全な支援の提供に努めた。

（2）虐待通報受付

虐待防止対応規程に基づく虐待通報受付はありませんでした。

（3）虐待防止委員会

法人内に各事業所の責任者、担当で構成する「虐待防止委員会」を設置し、虐待の防止と適正な支援の実施に向けた取り組みを行った。

今年度は6 回開催し、職員倫理綱領の周知や職員チェックリストの活用、勉強会の実施、職員研修の企画・運営を行った。

7. 地域における公益的な取組

（1）「上長内地区ふれあいサロン（ほのぼの給食会）」の実施

久慈市社会福祉協議会との共催により、上長内地区の高齢者を対象に、日帰りでの健康チェック・給食サービス・送迎サービスを提供し、健康の保持増進と生きがいの高揚の一助とするとともに、施設を開放して地域の方々との交流を促進した。

実施施設 松柏園、みずき園

実施回数 年間12回（各月1回、2施設で交互に実施）

参加延人数 51名（高齢者会員16名、ボランティア35名）

(2) 「IWATE・あんしんサポート事業」の実施

地域の市町村行政や社会福祉協議会等と連携・協力しながら、さまざまな生活課題を抱える皆さまの相談に応じ、日常生活上の福祉的な困りごとの解決に向けて支援していく社会貢献（地域公益）活動を実施した。

今年度は2件の相談を受けたが、あんしんサポート事業の利用には至らなかった。

○あんしんサポート相談員の配置 1名（チャレンジドセンター久慈）

○特別会費負担 年額50,000円

8. 情報公開

(1) ホームページへの掲載

法人ホームページを開設し、社会福祉法人に公表が義務付けられている事項及び積極的な公表事項について公開した。

○社会福祉法に基づく公表事項

定款の内容、報酬等の支給の基準、計算書類、役員等名簿、事業の概要

○積極的な公表事項

事業報告書、計算書類の付属明細書、財産目録、社会福祉充実残額算定シート、監査報告書

(2) 法人機関紙の発行

法人機関紙を年1回発行し、関係機関への配布や事業所内での掲示を通じて活動状況と決算資料を公開した。

9. 研修の状況

(1) 役員等研修会の開催（年1回）

期 日	研修名・内容	場 所	参加者
11月29日 10:00 ～12:00	平成30年度社会福祉法人修倫会 「役員等研修会」 講義「社会福祉法人制度改革の概要」 ～評議員・理事・監事の役割に ついて～ 講師：久慈市福祉事務所 社会福祉課社会長寿係 主査 西野 可奈 氏 (法人監査担当)	ロイヤル パークカ ワサキ	19名 評議員4名 理事6名 監事2名 外部委員2名 管理職員5名

(2) 役員等研修（外部研修への参加）

期 日	研修名	場 所	参加者
5月17日	久慈地域福祉サービス苦情解決情報交換会	久慈合同庁舎	第三者委員 神田秀子 第三者委員 神田光子
7月19日	平成30年度社会福祉法人制度改革フォローアップセミナー（前期）	ホテル東日本盛岡	専務理事 田代 順 事務局次長 間 則明
12月5日	働き方改革関連法説明会	宮古市民文化会館	専務理事 田代 順
12月13日	平成30年度社会福祉法人制度改革フォローアップセミナー（後期）	ホテル東日本盛岡	専務理事 田代 順

(3) 法人職員研修会の開催（年2回）

期 日	研修名・内容	場 所	参加者
8月25日	平成30年度修倫会第1回職員研修会 ・社会福祉法人制度改革の概要 ・I W A T E あんしんサポート事業の実施について ・利用者の意思決定支援について	久慈市総合福祉センター	全事業所職員46名
1月19日	平成30年度修倫会第2回職員研修会 ・講演「食事と健康」 講師：久慈市保健推進課 管理栄養士 本波千晶 氏 ・講義「障がい者虐待事例から学ぶ防止策」 講師：チャレンジドセンター久慈所長 鈴木 潔 ・パネルトーク 「聞いてみよう、みんなのストレス解消法」 パネリスト5名（各事業所より1名） コーディネーター：鈴木所長	久慈市総合福祉センター	全事業所職員46名

(4) 各施設の職員研修

施 設 名	内部研修の実施回数	外部研修	
		参加回数	参加延人数
松柏園	1	5	10
みずき園	1	15	27
あすリード本舗	6	7	7
チャレンジドセンター久慈	3	17	28
合 計	11	44	72

10. 役員等の状況（平成31年3月31日現在）

【評議員（7名）】

田表 一夫 日沢マサ子 田中 泰郎 瀧 重吉
村田 幸江 松野下富則 七十刈清明

【評議員選任・解任委員（外部委員2名、監事2名、事務局員1名）】

外部委員 関 英紀 外部委員 岩崎 壽吉
監 事 佐々木信蔵 監 事 勝田 好正 事務局員 古舘 哲雄

【理事（6名）、監事（2名）、顧問（1名）】

理事長 間 健倫 専務理事 田代 順 理 事 中野 信男
理 事 大崎 恵作 理 事 間 加壽子 理 事 高屋敷真喜子
監 事 佐々木信蔵 監 事 勝田 好正 顧 問 河野 貫治

【第三者委員（2名）】

神田 秀子（元評議員） 神田 光子（民生児童委員）

11. 職員配置（平成31年3月31日現在）

施 設 名	職員数 (兼務再掲)	内 訳		
		常用職員 (兼務再掲)	有期契約職員 フルタイム	有期契約職員 パートタイム
松柏園	14 (1)	11 (1)	1	2
みずき園	22 (1)	11 (1)	6	5
あすリード本舗	9	7	1	1
チャレンジドセンター久慈	6	5	1	0
合 計	50	33	9	8

III 事業内容

各施設、事業所の内容は別紙報告書のとおりである。

- ・平成30年度松柏園事業報告
- ・平成30年度みずき園事業報告
- ・平成30年度みずき園共同生活援助事業報告
- ・平成30年度あすリード本舗事業報告
- ・平成30年度チャレンジドセンター久慈事業報告

IV 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

平成 30 年度 みずき園事業報告書

1 総括

みずき園事業計画及び運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障害特性を尊重しながら、生産活動と生活支援を通じて知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら、適切な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、新規利用者が2名、年度途中での退所者が2名あった。曜日指定の登園利用者の継続、体調不良による長期欠席者もあったが、新規利用者1名の定期休が無かったため1日の平均利用者数は昨年を上回った。

就労支援事業においては、利用者の高齢化、障害特性や日々の心身状態の変化に応じた細かな作業支援に努めながら、安全管理、品質の維持管理、顧客ニーズに合わせた商品の製造・販売を継続した。商品の販路拡大の努力や年2回の「バザー」の開催継続、2年目となる農福連携モデル事業の施設外就労の取り組み等、授産収入向上に努力した結果、目標平均工賃を上回ることが出来た。

利用者支援においては、日中活動における創作活動と種類の研究の継続、園内外行事において利用者の嗜好や特性に配慮しながら、全員が平等に楽しむことが出来るよう内容の工夫をし、登園意欲を維持出来るように支援した。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 授産種目 食品製造・リサイクル・製粉加工・その他
- (6) 職員の配置状況 (平成31年3月31日現在)

職 種	員数	常 勤		非 常 勤		常勤換算	備 考
		専従	兼務	専従	兼務		
管理者	1		1			1	
総務課長	1	1				1	
主任生活支援員	2	2				2	
主任職業指導員	1	1				1	
サービス管理責任者	1	1				1	
職業指導員	5	4		1		4.8	
目標工賃達成指導員	1	1				1	
調理員	3			3		1.9	
合 計	15	10	1	4		13.7	

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

個別の面談や家庭訪問を実施し(年2回)、利用者と家族の希望の聞き取りをしながら心身状態、家庭での状況、サービスの意向等を把握したアセスメントにより、本人の希望する作業内容や生活支援を中心とした個別支援計画を作成した。また、モニタリングにより支援計画の検証を行い、支援の方向性や希望を再確認しながら個別の利用者支援に努めた。

- ・ 支援検討会議 年2回開催
- ・ モニタリング会議 年1回開催

(2) 作業支援

利用者の個別支援計画により、特性を考慮した上で取り組む作業科を決定し、年間を通して同一作業科を継続しての取り組みをしながら、障害特性に応じた創作活動、軽運動、気分転換を目的とした多様な活動と、納品や回収、軽農作業等の外出する機会をつくり、心身の安定と生産能力や活力の維持向上、作業の楽しみを得て登園意欲へ繋がるよう支援した。また、ほうれん草農家での農福連携のモデル事業を継続し、安全を最優先しながら、農家の求める作業内容に対して利用者がはつらつと取り組むことが出来るよう支援の工夫をした。

販売面においては、産直施設での陳列種類の増、販売先の新規開拓を継続し、新たに1か所確保した。また、授産商品を市内催事への出張販売や県社協共同受注センターの販売業務委託を積極的に活用し、ギフト販売では一般企業・団体を中心とした訪問営業活動を行ない、障害者就労支援への理解促進を図った。

(3) 社会生活支援

一人ひとりの可能性を伸ばすために社会参加を促進し、豊かな感性の育成と生きがいある生活支援のために、各種行事を積極的に企画し実施した。また、実施に際しては障害の程度に関わらず皆が安全に楽しむことが出来るよう創意工夫をした。

春のはつらつ行事(もぐらんぴあ)、教養講座「お茶会」、岩手県障がい者スポーツ大会、清掃奉仕活動、法人交流会、夏のリフレッシュデー(普代村まついそ公園)、1泊2日ふれあい旅行(秋田県仙北市方面)、リフレッシュ教室(ふれあいランドいわて・スポーツ支援事業を活用)、ふれあい交流スポーツフェスタ、家族合同大忘年会、クリスマス会、ミズキまつり、冬のお楽しみ行事(園内にて卓球バレー大会・カラオケ)、慰労食事会、上長内地区ほのぼの給食会(年6回、地域交流)等

(4) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、毎月の工賃支給日に体重測定を行うほか、岩手県予防医学協会の移動検診車による健康診断を年1回(2月)施設内で実施。また、希望者には医療機関においてインフルエンザの予防接種(11月・20名)を実施した。

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、利用者の身体状況、栄養や嗜好に配慮するために、アンケート調査を実施し(年2回)、少食を希望する利用者へも対応しながら、調理可能な範囲でバラエティーに富んだ手作りの食事(有料)を提供した。

- ・給食サービス利用者数 41名(利用率93.2%)
- ・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり340円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の298円

(6) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が出来ない利用者を対象に、送迎サービス(無料)を実施した。利用者38名(利用率86.4%)

(7) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、みずき園消防計画に基づき、消防署指導による総合防災訓練(年1回10月)、自主避難訓練(年1回4月)を実施した。

(8) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、各グループホームと連携しながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

また、毎月開催されるグループホーム個別支援会議を通して利用者情報を共有しながら職員間の連携を図り支援に努めた。

4 利用者の状況（平成31年3月31日現在）

(1) 月別在籍者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性(人)	26	26	26	26	26	26	25	25	25	25	25	25	306	25.5
女性(人)	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228	19.0
合計(人)	45	45	45	45	45	45	44	44	44	44	44	44	534	44.5

(2) 障害種別

	知的障害		身体障害	精神障害	合計
	A判定	B判定	1級	1級	
男性(人)	11	12	1	1	25
女性(人)	6	13	0	0	19
小計(人)	17	25	1	1	44

(3) 年齢

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
人数	1	12	13	9	7	2	44	37.20歳

(4) 出身市町村別

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	軽米町	計
人数	28	11	3	1	1	44

5 施設利用状況

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数(日)	21	23	22	22	20	20	23	22	21	20	20	21	255
延利用者数(人)	795	874	838	815	727	711	830	793	739	712	727	737	9,298
1日平均利用者数(人)	37.9	38.0	38.1	37.0	36.4	35.6	36.1	36.0	35.2	35.6	36.4	35.1	36.5
利用率(%)	84.1	84.4	84.6	82.3	80.8	79.0	82.0	81.9	80.0	80.9	82.6	79.8	81.9

6 就労支援事業の状況

(1) 年間事業収入

作業科	収入(円)	前年度対比(%)
食品製造科	4,865,418	83.26
菓子製造	4,620,028	83.3
出店販売	245,390	82.2
受託事業科	3,004,536	98.75
松柏園給食業務	3,004,536	100.1
その他	0	—
リサイクル科	2,087,576	98.99
園内		
ウエス	555,390	99.8
古着販売	609,480	123.4
自主製品	47,550	79.7
クリーニング取次等	30,222	130.7
味噌	69,350	107.5
園外		
缶等リサイクル	438,644	95.2
農園作業(委託料含む)	108,500	96.5
その他(剪定残材処理受託等)	228,440	68.6
製粉事業	1,895,116	107.21
製粉加工	1,043,533	131.5
商品販売	713,763	85.6
のだ塩	137,820	98.4
合計	11,852,646	92.85

(2) 工賃支給実績

	30年度目標	30年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	5,100円	5,757円	7,153円

(3) 各科の状況

①食品製造科	
[菓子製造]	<p>主要取引先の「株式会社のだむら」様を中心として産直、地元業者より主力商品の「サブレ、クッキー」の新パッケージデザインが好評を維持し継続的な受注を受けた。ギフト販売では戸別の訪問販売を見合わせて、一般企業・団体等を中心とした販売拡大を目指しチラシ配布の訪問営業を継続し、夏季・冬季共に売上目標を達成した。新規取引先の営業開拓も継続した結果、新たな売り場（おおみ屋）を確保した。</p>
②受託事業科	
[松柏園給食業務]	<p>職員を常時2名体制とし衛生管理、無事故の徹底、個別の希望（少食、アレルギー等）に対応しながらより良い給食提供に努めた。配膳作業や片付け作業に取り組むことが出来る利用者の作業技術が安定してきている。</p>
③リサイクル科	
[ウエス]	<p>昨年に引き続き、市民からの古着の寄付や問屋よりの綿素材の生地の確保が厳しい状況が続いた。問屋より都度、在庫分の仕入れをしながら良質で安定した商品製造に努め、既存の取引企業には安定して注文を受け納品した。</p>
[古着・自主製品販売]	<p>6月に「サマーバザール」を、11月には「オータムバザール」の企画・開催を継続し、例年並みの売り上げを達成した。販売用の古着や日用品等の在庫が減少しているため、新聞折り込みチラシにて、古着等の寄付を募ることを継続した。自主手芸製品の製作については、加齢や障害特性の多様化に対応するために作業内容を分かりやすく単純化し、創作活動や軽農園作業も組み込みながら情緒の安定や楽しみを感じられるよう、作業を進めた。</p>
[缶等リサイクル]	<p>大口企業からの空き缶の直接回収が困難となり、他の企業・団体への定期的な自主回収の継続と、法人職員や利用者家族へもチラシにて持ち込みを定期的呼びかけ、作業材料の確保に努めた。年間を通して気候の変化による体調不良を回避するために夏場は遮光ネットを張り、秋以降は室内において作業を継続し、利用者の体調管理や作業意欲の維持向上に努めた。</p>
[農園作業]	<p>久慈市社会福祉協議会「ふれあい農園」の委託契約により春季にはジャガイモを栽培しながら生育管理に努め、例年並みの量を収穫し納品した。また、農福連携のモデル事業を継続し、農家との直接契約により、7月から10月の間の10日間、昨年度とは違うほうれん草農家での施設外就労に取り組み、障害の重い利用者も試行的に参加して、農家の農福連携に対する理解に努めた。</p>
④製粉事業	
[製粉加工]	<p>既存取引企業の桑葉製粉加工を主に、継続した受注を受けた。個人客の受注については依頼人が固定化し、そこからの口コミによる新規顧客からの受注が増え、個別の細かな要求に対応した。</p>
[商品販売]	<p>オリジナル商品を市内、近隣町村の産直や土産店で販売を継続した。「桑の葉パウダー」は特定の産直において受注が安定し、農家より定期的に桑の生葉を仕入れ、製造に努めた。「切干大根」も初冬に製造し、市内産直にて季節商品として販売した。</p>

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	3	利用者入所式	食堂	入所者1名、家族、利用者、職員
	13	みずき通信「春号」発行		
	20	年間皆勤賞表彰式	園内	対象利用者4名、利用者、職員
	22	第1回家族会役員会	食堂	家族会役員9名、職員3名
	26	教養講座「お茶会」	松柏園ホール	利用者、職員
5	1	自主避難訓練	園敷地内	利用者、職員
	9	第1回ほのぼの給食会	会議室、食堂	利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師
	19	春のはつらつ行事	もぐらんぴあ、くろさき荘	利用者、職員
	25	清掃奉仕活動	上長内地区	利用者11名、職員3名
	27	家族会総会	食堂	家族会会員、職員4名
	28～6/8	久慈拓陽支援学校前期実習受け入れ		実習生2名
6	2	岩手県障がい者スポーツ大会	県営運動公園	利用者14名、職員4名
	6～8	久慈拓陽支援学校前期実習受け入れ		実習生2名
	16	法人交流会	園庭、園内	利用者、職員
	30	サマーバザール	園内	全職員
7	6	みずき通信「夏号」発行		
	11	第2回ほのぼの給食会	園内	利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師
	27	夏のリフレッシュデー	まついそ公園	利用者、職員
8	13	夏期特別工賃支給、皆勤賞表彰	園内	利用者
	14～15	夏季休暇		利用者、職員
9	9	第2回家族会役員会	食堂	家族会役員8名、職員3名
	12	第3回ほのぼの給食会	会議室、食堂	利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師
10	1～19	久慈拓陽支援学校後期実習受け入れ		実習生2名
	4～5	ふれあい旅行	秋田県仙北市方面	利用者、職員
	18	総合防災訓練	園敷地内、松柏園園庭	利用者、職員
	19	みずき通信「秋号」発行		
11	3	オータムバザール	園内	職員
	11	第3回家族会役員会	食堂	家族会役員7名、職員3名
	12・13	インフルエンザ予防接種	関上こどもクリニック	希望者20名
	14	第4回ほのぼの給食会	会議室、食堂	利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師
	23	ふれあい交流スポーツフェスタ	市民体育館	利用者25名、職員5名
		リフレッシュ教室 (ふれあいランド岩手スポーツ支援事業活用)	久慈市第二体育館	利用者14名、職員5名
12	8	家族合同大忘年会	ロイヤルパークカワサキ	利用者、家族、職員
	25	クリスマス会	食堂	利用者、職員
	28	冬期特別工賃支給、皆勤賞表彰	園内	利用者
	28	年末大掃除・仕事納め式	園内	利用者、職員
	29～1/3	年末年始休暇		利用者、職員
1	4	仕事始め式	作業室	利用者、職員
	11	ミズキまつり	作業室	利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師、関係者等
	11	第5回ほのぼの給食会	作業室	
2	7	利用者健康診断	園内(岩手県予防医学協会検診車)	利用者
	15	みずき通信「冬号」発行		
	22	冬のお楽しみ行事	園内	利用者、職員
3	3	第4回家族会役員会	食堂	家族会役員6名、職員3名
	13	第6回ほのぼの給食会	会議室、食堂	利用者、職員、ほのぼの利用会員、保健師
	28	慰労食事会	レストラン山海里	利用者、職員

※毎月20日は工賃支給日、体重測定、ごちそう給食の日

8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定、授産業務全般について
毎月1回	工賃支給会議	全職員	利用者の工賃支給額の決定について
年2回	支援検討会	園長、支援員	利用者の個別支援計画について
年1回	モニタリング会議	園長、支援員	利用者の個別支援計画の振り返り
毎月1回	グループホーム支援会議	園長、担当支援員、全世話人	4ホームの運営全般について
毎月1回	グループホーム個別支援会議	担当支援員、世話人	入居利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議（4事業所合同）	園長、担当職員	各事業所の経営について
年2回	工賃評価会議	園長、担当職員	利用者の作業能力評価について
年4回	給食会議（松柏園、みずき園合同）	園長、担当職員	給食業務全般、栄養指導について

9 職員研修の状況

（1）施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
11/30	岩手県知的障害者福祉協会虐待防止委員会（兼平成30年度支援スタッフ委員会研修会）復命	主任生活支援員 谷地修	全職員	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・会員施設において発生した虐待事案について ・虐待防止に向けた取組（アンガーマネジメントの視点から）

（2）施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
7/24～25	平成30年度岩手県知的障害者福祉協会新任職員研修会	岩手県知的障害者福祉協会	渡り温泉ホテルさつき	職業指導員	1名	基本的知識の習得と福祉の動向、支援のあり方を学ぶ
8/29	園芸労働力確保支援対策事業第2回農作業見学会	久慈地方農業農村活性化推進協議会	久慈市宇部町内圃場	主任生活支援員	2名	農作業現場を見学することにより事業所及び農家の農福連携に対する理解を深める
9/19	平成30年度支援力を高めるコミュニケーションスキル研修	岩手県社会福祉事業団	いわて県民情報交流センター アイーナ	職業指導員	1名	業務を円滑に進めるためにコミュニケーションスキルの基本を学び、対人援助に必要な知識・技術を習得する
9/18	障がい者アート研修会	県北広域振興局 久慈地域障害者自立支援協議会	久慈地区合同庁舎	主任生活支援員 サービス管理責任者 職業指導員	3名	障がい者の芸術作品の創作に関する知識や支援技術等を学ぶ
9/21	園芸労働力確保支援対策事業第3回農作業見学会	久慈地方農業農村活性化推進協議会	洋野町阿子木地区圃場	主任生活支援員	2名	農業関係者に利用者の作業の様子の見学を受け、状況の説明等を行い質疑応答を実施

10/17	平成30年度岩手県 障がい者就労支援 振興センター「食 品表示研修会」	岩手県社会 福祉協議会 が 障がい者就労支 援振興セン ター	宮古市文化 会館	目標工賃達 成指導員 職業指導員	2名	新たな食品表示法や食品表示 基準の下での表示法を学ぶ
10/15	平成30年度岩手県 農福連携総合支援 事業 農業関係者 向け研修会	岩手県社会 福祉協議会	久慈拓陽支 援学校	主任生活支 援員	1名	農福連携マッチング事例発表 を通じて農業関係者が障がい 者についての理解を深め、障が い者の就労の場の拡大、環境の 整備を図る
11/19 ～20	GAP 入門と HACCP 導入のための食品 衛生管理セミナー	日本セルブ センター	マリオス盛 岡	目標工賃達 成指導員 職業指導員	2名	GAP の概要とポイントと改正衛 生法、HACCP と一般衛生管理の 概要を学ぶ
11/19	園芸労働力確保支 援対策事業第4回 農作業見学会	久慈地方農 業農村活性 化推進協 議会	久慈市夏井 町内圃場	主任生活支 援員	1名	農作業現場を見学することに より事業所及び農家の農福連 携に対する理解を深める
11/22	岩手県知的障害者 福祉協会虐待防止 研修会（兼平成30 年度支援スタッフ 委員会研修会）	岩手県知的 障害者福祉 協会	ふれあいラ ンド岩手	主任生活支 援員	1名	虐待の根絶とより一層の利用 者主体のサービス提供の実現 に向けて、支援の在り方を見つ め直す
11/28	岩手県社会福祉協 議会障がい者福祉 協議会平成30年度 県北ブロック協 議会研修会	岩手県社会 福祉協議会 障がい者福 祉協議会 県北ブロック	二戸地区合 同庁舎	主任職業指 導員	1名	対人援助での「イライラ」を上 手にコントロールできるアン ガーマネジメンの技術を習 得する
1/25	平成30年度工賃引 上げ支援セミナー	岩手県保健 福祉部障が い保健福祉 課	ふれあいラ ンド岩手	主任職業指 導員 職業指導員	2名	工賃向上計画に基づき、工賃の 向上とノウハウの共有を図る
2/21	平成30年度岩手県 障がい者就労支援 振興センター「商 品販売・開発に関 する相談会」	いわて障が い者就労支 援振興セン ター	あすリード 本舗	職業指導員	1名	自事業所の価格設定やパッケ ージデザイン、製品に関する悩 みごとをアドバイザーにより 解決を図り、今後の商品開発に 役立てる
2/12	園芸労働力確保支 援対策事業実績検 討会	久慈地方農 業農村活性 化推進協 議会	新岩手農業 協同組合久 慈営農経 済センター	主任生活支 援員	2名	農業と福祉の連携について（各 地域の取り組み状況、今年度の 支援対策事業の報告）

平成 30 年度 共同生活援助事業報告書

1 総括

みずき園共同生活援助事業運営規程に基づき、利用者一人ひとりの障がい特性、ニーズに合わせ地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援した。

利用者の疾病、加齢に伴う心身状態の変化に伴い複数の日中サービスを併用する利用者が増加しており、関係機関と連携し支援を行った。また、水害時の避難確保計画を作成し水害浸水想定区域の 2 ホームの避難訓練を実施した（みずきハウス・なごみハウス）。

2 共同生活住居の所在地・定員

名称	所在地	定員及び内訳	総定員	事業所名
みずきハウス	久慈市長内町第 20 地割 61 番地 4	共同生活援助 5 人	22 人	みずき園
なごみハウス	久慈市栄町第 37 地割 78 番地 16	共同生活援助 5 人		
のどかハウス	久慈市川貫第 5 地割 20 番地 67	共同生活援助 6 人		
きららハウス	久慈市川貫第 9 地割 24 番地 1	共同生活援助 6 人		

3 職員の職種・職務内容

職員の職種	員数	専従	兼務	職務内容
管理者	1		1	従業者及び業務の管理を一元的に行うとともに、従業者に法令等を厳守させるため必要な指揮命令を行なう
サービス管理責任者	1	1		個別支援計画の作成及びサービス内容の評価・管理等を行う
生活支援員	1	1		個別支援計画に基づきサービス提供や利用者の心身の把握を行う
世話人	5	5		日常生活全般に係る相談支援、食事提供等
代替世話人	2	2		日中・夜間見回り、休日見守り支援等
事務員	1		1	庶務及び会計

4 利用者の状況

(1) 月別・ホーム別利用者数

ホーム別	月別												計	充足率 (%)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
みずきハウス (定員 5 人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
なごみハウス (定員 5 人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	100%
のどかハウス (定員 6 人)	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	100%
きららハウス (定員 6 人)	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	62	86%
合計	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	254	96%

(2) 障害支援区分別利用者数

障害支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	6	6	6	6	6	6	5	5	4	4	4	4	62
区分 2	13	13	12	12	12	12	11	12	12	12	12	12	145
区分 3	2	2	2	2	2	2	4	3	3	3	3	3	31
区分 4	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	10
区分 5	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	6
合計	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	254

(3) 出身市町村別

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	一戸町	田野畑村	計
人数	10	6	2	1	1	1	21

5 サービス内容

(1) 個別支援

利用者の人権を尊重し、一人ひとりのニーズを大切にしながら、本人及び家族の合意を得た個別支援計画に基づいて関係機関と連携を取り支援を実施した。又、必要に応じて買い物や行事参加の同行支援や各種手続き支援を行った。

(2) 食事の支援

栄養並びに嗜好を考慮し、利用者一人ひとりの心身状態に配慮した食事を適切な時間に提供した。また、休日の昼食は各自自由に用意しているが必要な場合は買物等の同行、代行支援を行った。

※一般就労している利用者の勤務時間によって個別対応あり（昼食、夜食）。

(3) 入浴

1週間に3回以上の入浴、希望により毎日の入浴を行った。一人で入浴が難しい利用者に対して入浴準備、見守り支援、他サービスの入浴利用を支援した。

(4) 排泄

個人のプライバシーを尊重の上、利用者の心身の状況に応じて適切な方法により、必要な援助を行った。

(5) 生活支援

一人ひとりが地域で暮らし続けられるように家族や関係機関との連携、日常生活自立支援事業との連絡調整を行った。また必要に応じて各種手続きの同行、代行支援を行った。

(6) 健康管理

利用者一人ひとりの健康状態を把握し、必要に応じて掛かりつけ医や協力病院での定期通院、不定期通院等の通院同行支援を行った。また、健康診断、食事栄養指導、入院時の各種手続き、面会等を行った。

(7) 余暇支援

利用者の希望を尊重しホーム内外での交流や市外への外出等を積極的に取入れ余暇の充実に繋げる事が出来た。長期休暇に家族の元に帰宅が難しい入居者においては他ホーム入居者同士の交流やイベントの見学、行事食の提供を行った。

<ホーム行事、イベント見学、外食、クリスマス会、慰労食事会、等>

(8) 相談・援助

利用者の心身の状況や環境等の把握に努め、利用者または家族の相談に応じながら、必要な助言やその他の援助を行った。

また、各市町村、関係機関と連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援を行った。

6 利用料金（事業者が利用者から直接受領する費用及びその額は次のとおり）

	サービス利用料	家賃 (個室)	食費 (1食あたり)	水道光熱費 (電気、水道、灯油、日用品費等)
みずきハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	20,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
なごみハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	25,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
のどかハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収
きららハウス	市町村が定めた額 ※収入に応じての定率負担	18,000円	朝食 300円 夕食 400円	実費徴収

※家賃については、市町村からの家賃補助を受ける場合、月額10,000円を控除した額を受領。

7 非常災害対策

災害時を想定した避難、通報、消火訓練を4ホーム合同、各ホーム毎に実施。(2月)

災害時を想定した避難、支援者不在時の擬似通報体験を各ホーム毎に実施。(3月)

水害時を想定した避難、通報訓練を2ホーム(みずき・なごみ)実施。(10月)

8 定例会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	グループホーム全体支援会議	園長、サービス管理責任者、生活支援員、世話人等全員	グループホーム全体の利用者支援について
毎月1回	各ホーム支援会議(ホーム毎)	サービス管理責任者、生活支援員、担当世話人等	利用者の個別支援について

9 職員研修の状況

(1) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
12/14	平成30年度 グループホーム世話人等研修会	岩手県社会福祉協議会 障がい者施設協議会 県北ブロック協議会	二戸地区 合同庁舎 1階	世話人	5名	「障がいについての基礎を学ぶ。～発達障害・行動障害～」

平成30年度 松柏園事業報告書

1 総括

松柏園運営規程に基づき、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な指定就労継続支援B型サービスを実施した。

施設の利用状況は、高齢化が進む中、健康面や安全面を勘案しながら支援を行うとともに、期中に新規利用契約者が1名いたことにより、平均利用者数及び利用率ともに安定した利用となった。

就労支援事業においては、燃料、資材等の高騰で厳しい状況の中、経費削減や営業努力を継続し、利益確保に努めた結果、平均工賃月額が30,060円となり目標額を大きく上回ることが出来た。

2 事業の概要

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成19年4月1日
- (3) 定員 40名
- (4) 主たる対象者 身体障害者、知的障害者
- (5) 就労支援種目 クリーニング、縫製、シルクスクリーン印刷
- (6) 職員の配置状況 (平成31年3月31日現在)

職 種	員数	常 勤		非常勤		常勤換算
		専従	兼務	専従	兼務	
園長 (管理者)	1		1			1
副園長兼職業指導員	1	1				1
サービス管理責任者	1	1				1
生活支援員	3	3				3
職業指導員	4	4				4
目標工賃達成指導員	1	1				1
指導員補助	2			2		1.2
業務員	1	1				1
事務員	1	1				1
合 計	14	11	1	2		14.2

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び就労移行に対する考え方を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

(2) 作業支援

利用者個々の障害特性に応じた作業ができるように、可能な限り作業工程の単純化を図り、道具の工夫や手順の標準化に努め、継続的な作業環境の整備に努めた。また、利用者個々のスキルアップや能力を向上するための作業支援に努めた。

一方で、加齢により作業能率の低下が見られる利用者が増えつつある現状を踏まえ、対象となる利用者に対しては健康管理を優先し、無理の無い作業の取り組みとなるよう配慮した。

(3) 実習・就労移行支援

一般就労、就労移行希望者がいなかったが、利用者個々のスキルアップや能力・就労意欲の向上が図れるよう支援に努めた。

(4) 社会生活支援

地域における催事等に積極的に参加し、利用者の社会参加促進に努めた。

また、利用者の生きがいのある豊かな生活のため、文化活動や季節感の感じられる各種行事を実施した。

- ・春の野外行事、お茶会、法人施設交流会、親睦旅行（宮古・釜石方面1泊2日）
- 忘年会、上長内地区ほのぼの給食会（年6回、地域交流）、慰労食事会等

(5) 給食サービス

給食を希望する利用者を対象に、栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ手作りの食事（有料）を提供した。

- ・給食サービス利用者数 43名（利用率96%）
- ・食事提供に係る実費徴収額 1食当たり300円

※低所得者の軽減措置適用の該当者は原材料費相当額の258円

(6) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に血圧・体重測定を行うほか、健康診断を年1回（2月）実施。また、希望者（15名）には医療機関においてインフルエンザの予防接種を実施した。

(7) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通勤が出来ない利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。

- ・送迎サービス対象者数 43名（利用率96%）

(8) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、松柏園消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練（年1回10月）、通報・避難訓練（年1回4月）を実施した。

(9) 地域生活支援

各市町村、チャレンジセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム職員との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

4 利用者の状況（平成31年3月31日現在）

(1) 月別在籍者数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男性(人)	28	28	28	28	28	28	29	29	29	29	29	29	342	28.5
女性(人)	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192	16.0
合計(人)	44	44	44	44	44	44	45	45	45	45	45	45	534	44.5

(2) 障害種別

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
人数	3	10	1	3	1	2	0	21	1	1	1	1	45
小計	20						21		4				45

(3) 年齢別

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	計	平均年齢
人数	0	9	2	9	12	13	45	50.5歳

(4) 出身市町村別

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	その他	計
人数	30	6	6	3	0	45

5 施設利用状況

月別 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開所日数 (日)	21	23	22	22	20	21	23	22	21	20	20	21	256
延利用者 数(人)	857	932	900	902	823	848	973	900	852	833	844	864	10528
1日平均利 用者数(人)	40.8	40.5	40.9	41.0	41.2	40.4	42.3	40.9	40.5	41.7	42.2	41.1	41.1
利 用 率 (%)	92.7	92.1	93.0	93.2	93.5	91.8	94.0	90.9	90.2	92.6	93.8	91.4	92.4

6 就労支援事業の状況

(1) 年間就労支援事業収入

作業科	収 入 (円)	前年度対比 (%)
クリーニング	29,075,962	101.4%
縫製	2,807,369	114.8%
シルクスクリーン印刷	17,464,391	96.7%
合 計	49,347,722	100.3%

(2) 工賃支給状況

	30年度目標	30年度実績	備考(前年度実績)
平均工賃月額	29,500円	30,060円	29,957円

(3) 各科の状況

<クリーニング科>

<クリーニング科>

主力となる4介護施設の入所者私物クリーニングは順調に推移し昨年度とほぼ同額の作業確保となった。

宿泊施設のリネンリースは観光客や工事関係者の利用が徐々に減少傾向にある。

一般クリーニングは、前年比25.4%増となった。要因として、民間事業所のユニホームや白衣等の受託、学校や団体等への継続的な営業活動、短期の大口の仕事を受託した事が売り上げ確保に繋がった。

設備面では、燃料費高騰が続く中様々な検討を重ね、9月に配管の組み換えを行い、後期以降は約30%の燃料費節約が可能となった。

クリーニング収入内訳(円)	前年比 %
施設利用者私物 (老健等4施設)	18,213,818 97.8
リネンリース (旅館1か所)	4,523,748 96.9
基準寝具業務受託 (特養1施設)	1,419,279 99.1
一般(個人、団体等)	4,919,117 125.4
計	29,075,962 101.4

<縫製科>

年間売上は、前年比 14.8%増となった。A社との交渉により、洗い作業の単価アップと入荷量が増加した。またB社からのパジャマ類等、作業量の安定を図るため、納期の調整や製品管理に努めた。

作業面においては、利用者のアイロン仕上げや縫製作業等、作業技術向上のための指導を行い、生産力向上につなげた。また、高齢の利用者も多いため、安全面、健康面に配慮した作業の取り組みを行った。

縫製収入内訳 (円)		前年比 %
子ども服仕上げ受託 縫製事業所 A 社	1,229,104	122.0
パジャマ仕上げ受託 縫製事業所 B 社	1,578,265	109.7
計	2,807,369	114.8

<シルクスクリーン印刷科>

30年度の年間売上は、前年比 3.3%減となった。丁寧な対応や製品の品質を心掛けていることもあり、企業や個人からの注文は市内だけでなく、ロコミ等により遠方からも注文をいただけた。売上は減少しているが、注文件数は前年比より 10%程増加している。学校やスポ少関係といった注文が、子供数の減少を背景に注文数が年々少なくなっている。多くの学校やスポ少より注文をいただいている状況から影響は大きい。

また、利益確保のために外注先との価格交渉や、作業部材の再利用を行い経費の削減に努めた。

シルクスクリーン印刷収入内訳 (円)		前年比 %
タオル類	5,369,976	102.9
Tシャツ類	7,062,450	103.5
のぼり旗類	2,818,140	82.1
その他のアイテム	2,213,825	86.0
計	17,464,391	96.7

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参 加 者 等
4	2	「松柏園だより」発行	園敷地内 ホール、食堂 食堂 ホール	利用者、職員
	10	避難訓練		利用者、職員、給食会会員、保健師
	11	第1回ほのぼの給食会		利用者、職員6名
	12	親睦会総会		利用者44名、職員13名
5	26	教養講座「お茶会」		
	10	親睦会役員会	会議室	利用者、職員1名
6	12	春の行事	久慈市内(もぐらんびあ)	利用者36名、職員12名
	1	「松柏園だより」発行	ホール、食堂 みずき園園庭	利用者、職員、給食会会員、保健師
	13	第2回ほのぼの給食会		利用者34名、職員13名
7	16	法人施設交流会		
7	5	親睦会役員会	会議室	利用者、職員1名

8	1 8 13 14~15	「松柏園だより」発行 第3回ほのぼの給食会 特別工賃支給 お盆休み	ホール、食堂	利用者、職員、給食会会員、保健師
9	1~2 12	親睦旅行 親睦会役員会	宮古・釜石 会議室	利用者36名、職員16名 利用者、職員1名
10	1 10 18	「松柏園だより」発行 第4回ほのぼの給食会 防災総合訓練	ホール、食堂 園敷地内	利用者、職員、給食会会員、保健師 利用者、職員
11	8	親睦会役員会	会議室	利用者、職員1名
12	3 12 14 15 25 28 29~1/3	「松柏園だより」発行 第5回ほのぼの給食会 特別工賃支給 忘年会 クリスマス会 大掃除 年末年始休み	ホール、食堂 ロイヤルパークカワサキ 食堂	利用者、職員、給食会会員、保健師 利用者39名、職員13名、他2名 利用者、職員
1	10	親睦会役員会	会議室	利用者、職員1名
2	1 7	「松柏園だより」発行 節分昼食会（豆まき） 利用者健康診断	食堂 みずき園	利用者、職員 利用者
3	7 21	親睦会役員会 慰労食事会	会議室 山海里	利用者、職員1名 利用者43名、職員14名

*毎月15日は工賃支給日、体重・血圧測定、ごちそうの日

8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月1回	授産会議	全職員	授産業務全般、工賃等について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月1回	運営会議（4事業所合同）	園長、副園長、主任	法人内全事業所の経営について
年4回	給食会議（松柏園・みずき園合同）	担当支援員	給食業務全般、栄養指導について

9 職員研修の状況

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	場所	参加職員	参加人数	研修内容
7/27	平成30年度 職員内部研修	渡辺和光	三陸鉄道構内	全職員	13名	「車イスでの移動介助」 ・車イスのサポート方法の実践

(2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
7/12 ～13	平成30年度全国社会就労センター協議会総合研究大会	全国社会就労センター協議会	ホテル青森	生活支援員	1名	行政説明 シンポジウム「工賃向上・受注拡大をいかに実現するか」 分科会（事業所別部会）
9/19	平成30年度 支援力を高めるコミュニケーションスキル研修	社会福祉法人岩手県社会福祉事業団	いわて県民情報交流センターアイーナ	職業指導員	1名	講義 福祉サービスの現場におけるコミュニケーションの基本 演習 支援に役立つ具体的なコミュニケーションの取り方
11/28	平成30年度 県北ブロック協議会研修会	岩手県社会福祉協議会	二戸地区合同庁舎	職業指導員	1名	講演・演習「アンガーマネジメント研修」
11/17	平成29年度岩手県障がい者協働生産施設協議会職員研修会	岩手県障がい者協働生産施設協議会	陸中海岸グランドホテル	園長 副園長 生活支援員 事務員	6名	講演「ラクビーワールドカップ2019と今後の展望」 講演「災害時における避難行動要支援者の対策について」
12/6 ～7	防火管理者講習	岩手県防災保安協会	二戸市民文化会館	指導員	1名	資格取得のための講習

平成30年度 あすリード本舗事業報告書

1 総括

あすリード本舗運営規程に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの障害特性や個性を尊重しながら、生産活動を通じて就労移行に向けた知識及び能力の向上を図り、関係市町村、保健・医療・福祉サービス機関と連携しながら適正な就労移行支援サービス、就労継続支援A型サービスを4月から9月まで提供し、10月からは就労継続支援B型サービスを提供した。

就労継続支援B型サービスへ転換するにあたり、利用者個々の希望に添った支援を行い、一般就労希望者に対し、職場実習、斡旋等を行った結果、2名の利用者が一般就労に移行した。しかし、実習、面接等の支援を行った2名は希望に添った進路が決まらなかった。

また、他事業所を希望した2名（A型1名、就労移行1名）については希望する施設の利用となった。

就労継続支援B型サービス利用者に対し、雇用契約解除に伴う失業保険の受給手続きの支援を継続し行っている。

利用契約者は4月の24名から10月に19名と減少したことにより、福祉事業活動収支差額は-8,774千円と前年よりマイナスが4,987千円増加し、一方、就労支援事業収支差額はA型からB型へ転換したことにより労務費が減少し-1,724千円と前年よりマイナスが4,930千円減少した。経常増減差額は-10,514千円と施設経営にとって厳しい数字となっており、今後の利用者確保が急務となった。

2 事業の概要

2-1 事業実施期間：平成30年4月1日～平成30年9月30日

- (1) 事業の種類 就労移行支援、就労継続支援A型
- (2) 指定年月日 平成23年4月1日
- (3) 定員 就労移行支援 6名
就労継続支援A型 30名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目
就労移行支援 菓子製造作業
就労継続支援A型 麺製造作業、菓子製造作業、南部煎餅製造作業、販売事業、
受託作業（のだ塩、炭袋詰め等）

2-2 事業実施期間：平成30年10月1日～平成31年3月31日

- (1) 事業の種類 就労継続支援B型
- (2) 指定年月日 平成30年10月1日
- (3) 定員 20名
- (4) 主たる対象者 知的障害者
- (5) 就労支援種目
麺製造作業、菓子製造作業、販売事業、受託作業（のだ塩、炭袋詰め等）

(6) 職員の配置状況 (平成31年3月31日現在)

(単位:人)

職 種	員数	常勤		非常勤		常勤換算	備考
		専従	兼務	専従	兼務		
施設長 (管理者)	1	1				1	
サービス管理責任者	1	1				1	
事務員	1	1				1	
生活支援員	1	1				1	
職業指導員	4	2		2		3.9	
目標工賃達成指導員	1	1				1	
合 計	9	7		2		8.9	

3 施設サービスの状況

(1) 個別支援

利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、利用者本人及び家族等の同意を得た個別支援計画を作成し、利用者個々の実情に応じた作業ができるように環境を整え、就労への作業意欲、能力の向上に向けた継続的な就労の場を提供するとともに、個々の勤労意欲が高まるよう支援した。

(2) 社会生活支援

文化活動、余暇活動を実施することにより、利用者の生活を豊かにするとともに社会参加や生きがいがづくり等の支援を行うため、利用者自治会への支援を実施した。

(3) 健康管理

利用者個々の健康状態を把握するとともに、定期的に体重及び血圧測定を行うほか、健康診断を2月に実施した。

(4) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通勤ができない利用者を対象に、送迎サービス (無料) を実施した。

・送迎サービス対象者数 16名

(5) 安全対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため、定期的に消防設備点検を行うほか、あすリード本舗消防計画に基づき、消防署指導による防災総合訓練 (年1回10月)、通報・避難訓練 (年1回5月) を実施した。

(6) 地域生活支援

各市町村、チャレンジドセンター久慈、グループホームとの連携を図りながら、利用可能な福祉サービスや関連情報の提供等、利用者の生活ニーズに即した支援に努めた。

グループホーム利用者に対しては、みずき園グループホーム個別支援会議へ担当支援員が参加するなど、グループホーム従業者との情報共有を図りながら、チームケアの一員として生活支援に努めた。

(7) 苦情受付体制

提供した施設サービスについて利用者やその家族からの苦情・相談を受け付ける苦情受付窓口を設置し、利用者主体の福祉サービスの確保と権利擁護に努めた。

4 利用者の状況 (平成31年3月31日現在)

(1) 月別在籍者数

就労移行支援 (単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
男性	1	1	1	1	1	1	/	/	/	/	/	/	6	1.0
計	1	1	1	1	1	1	/	/	/	/	/	/	6	1.0

就労継続支援A型 (単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
男性	14	13	13	13	12	12	/	/	/	/	/	/	77	12.8
女性	9	9	9	8	8	8	/	/	/	/	/	/	51	8.5
計	23	22	22	21	20	20	/	/	/	/	/	/	128	21.3

就労継続支援B型 (単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
男性	/	/	/	/	/	/	12	12	12	12	12	12	72	12.0
女性	/	/	/	/	/	/	7	7	7	7	7	7	42	7.0
計	/	/	/	/	/	/	19	19	19	19	19	19	114	19.0

(2) 障害種別

(単位:人)

種別	身体障害						知的障害		精神障害				合計
	1級	2級	3級	4級	5級	6級	A	B	1級	2級	3級	手帳なし	
人数	1	2	0	0	0	0	0	15	1	0	0	0	19
小計	3						15		1				

(3) 年齢別

(単位:人、才)

	19以下	20~29	30~39	40~49	50~59	60以上	計	平均年齢
人数	0	4	4	10	0	1	19	38.8

(4) 出身市町村別

(単位:人)

	久慈市	洋野町	野田村	普代村	計
人数	12	4	3	0	19

5 施設利用状況

就労移行支援

(単位:日、人、%)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	21	23	22	22	21	20							129
延利用者数	19	22	22	22	21	20							126
1日平均利用者数	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0							1.0
利用率	90.5	95.7	100	100	100	100							97.7

就労継続支援A型

(単位:日、人、%)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	21	23	22	22	21	20							129
延利用者数	461	494	451	435	410	395							2646
1日平均利用者数	22.0	21.5	20.5	19.8	19.5	19.8							20.5
利用率	95.4	97.6	93.2	94.2	97.6	98.8							96.0

就労継続支援B型

(単位:日、人、%)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数							23	22	22	21	20	21	129
延利用者数							425	405	392	355	353	367	2297
1日平均利用者数							18.5	18.4	17.8	16.9	17.7	17.5	17.8
利用率							97.3	96.9	93.8	89.0	92.9	92.0	93.7

6 就労支援事業の状況

本年度の就労支援事業収入は43,231千円と前年対比88.1%と前年を下回る実績となった。上半期で煎餅の製造を中止したことが大きな要因となっているが、受託事業を除いてすべての事業が前年を下回る実績となった。

就労支援事業収支差額は-1,724千円と前年対比25.8%とマイナスは減少した。サービス区分間の収支はA型事業-6,602千円、B型事業4,878千円とB型への転換の効果がみられた。

(1) 年間事業収入

項目	収入(円)	前年度対比(%)
食品製造事業	3,503,581	66.1
製麺事業	30,662,452	96.2
販売事業	2,703,014	81.1
受託事業	5,184,102	105.3
煎餅事業	1,178,379	32.3
合計	43,231,528	88.1

(2) 工賃、賃金の支払い状況

就労移行支援

支払総額	一人当支払額(月額)	備考(前年度実績)
98,400円	16,400円	16,908円

就労継続支援A型

支払総額	一人当支払額(月額)	備考(前年度実績)
9,831,511円	77,413円	76,344円

就労継続支援B型

支払総額	一人当支払額(月額)	備考(前年度実績)
3,443,660円	30,208円	—円

(3) 各事業の状況

<食品製造事業>

年間売上は3,503千円となり前年対比66.1%と減少した。全ての商品が前年より売り上げが落ち込み、特にクレープ等の生菓子を6月末で製造を中止したことが影響した。

収支差額はすべての商品が手作りで労務費が過大であり、-4,623千円と前年対比52.4%となったが依然として収支の均衡がとれない状況となっている。

収支状況(円)		
収入	かりんとう	2,370,582
	その他菓子類	1,132,999
	計	3,503,581
支出	製造原価	8,065,976
	販売管理費	60,782
	計	8,126,758
部門収支		▲4,623,177

<製麺事業>

年間売上は 30,662 千円となり、前年度対比 96.2%となった。売上については、袋・パック・箱物が減少しているなかで、生麺、スープ類の売り上げが多少ではあるが伸びている。しかし、ゆうパックが前年対比 81.6%と伸び悩んだ。

月間製造数は 114.6 袋と前年を下回り、設備にかなり余裕が有り、今後の受注活動が重要となった。

収 支 状 況 (円)		
収入	袋・パック・箱	11,573,244
	麺 類	16,216,720
	ス ー プ 類	2,872,488
	計	30,662,452
支出	製 造 原 価	22,146,924
	販 売 管 理 費	2,803,448
	計	24,950,372
部門収支		5,712,080

<販売事業>

年間売上は、2,703 千円となり、前年度対比 81.1%となった。

ギフト商品については、乾麺を他県の障がい福祉施設、県内の業者から仕入れて行った。

また、法人内部の連携も行い、クッキー、サブレ等の販売も行った。

収 支 状 況 (円)		
収入	パ ン	170,050
	ギ フ ト 商 品	1,155,760
	そ の 他	1,377,204
	計	2,703,014
支出	製 造 原 価	1,413,361
	販 売 管 理 費	1,364,400
	計	2,777,761
部門収支		▲74,747

<受託事業>

年間売上は、5,184 千円となり、前年度対比 105.4%と増加した。

木炭の袋詰め作業の受託については、注文が集中する時期もあったが注文に間に合わせた生産が行われ、前年対比 106.9%、のだ塩作業受託については、前年対比 117.2%と増加した。

のだ塩作業受託については、10月より施設での作業となり、受託料についても製造数量に応じた体系となった。

収 支 状 況 (円)		
収入	のだ塩作業受託	2,104,113
	炭 作 業 受 託	2,873,653
	その他作業受託	206,336
	計	5,184,102
支出	製 造 原 価	6,775,922
	計	6,775,922
部門収支		▲1,591,820

<煎餅事業>

年間売上は、3,640千円となり、前年度対比82.3%の減少となった。

利用者の減少により6月をもって製造を中止した。しかし、イラストせんべいについては、白煎餅を仕入対応している。

収 支 状 況 (円)		
収入	南 部 煎 餅	969,518
	イ ラ ス ト 煎 餅	208,861
	計	1,178,379
支出	製 造 原 価	2,302,655
	販 売 管 理 費	22,500
	計	2,325,155
部門収支		▲1,146,776

7 主要行事

月	日	行 事 等	場 所	参加者等
5	16	自主避難訓練	施設敷地内	利用者・職員
9	8~9	親睦旅行	仙台市	利用者・職員
10	1	就労継続支援B型事業開始式	会議室	利用者・職員
10	11	失業保険受給手続集合受付	会議室	利用者17名
10	16	失業保険受給手続き	ハローワーク	利用者2名
10	18	総合防災訓練	施設敷地内	利用者・職員
10	30 ~ 毎月	失業保険認定日	ハローワーク	利用者19名
12	1	忘年会	久慈グランドホテル	利用者・職員
12	25	クリスマス会	食堂	利用者
2	7	健康診断	みずき園	利用者

※A型・移行は毎月10日、給料日及び体重・血圧測定

B型は毎月20日、工賃支給日及び体重・血圧測定

8 会議の状況

実施日	会議名	参加職種	内 容
毎月1回	職員会議	全職員	施設業務、行事予定について
毎月1回	授産会議	全職員	授産業務全般について
毎月1回	支援会議	全職員	利用者の個別支援について
毎月1回	手話講習会	利用者	手話講習
毎月1回	運営会議	施設長、担当職員	法人内全事業所の経営について

9 職員研修の状況

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職員	参加人数	研修内容
6/29	B型事業へ向けての職員研修	チャレンジドセンター久慈所長	全職員	9名	・A型とB型の違いについて
7/18 ～19	同上	同上	全職員	9名	・障害種別における支援の方法について
8/22	同上	同上	全職員	9名	・障害種別における支援の方法について
9/ 6	同上	同上	全職員	9名	・B型に向けて不安に感じる事
9/13	同上	同上	全職員	9名	・工賃支給に関する検討
9/20	同上	同上	全職員	9名	・工賃支給単価の検討

(2) 施設外研修

実施日	研修名	開催者	場 所	参加職種	参加人数	研修内容
6/25 ～26	社会福祉従事者新任職員研修	岩手県社会福祉協議会	岩手県産業文化センターアピオ	職業指導員	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインとセルフマネジメント ・福祉理論と運営管理 ・メンバーシップと課題解決 ・職場生活の基本 ・多職種連携とチームアプローチ
7/12 ～13	全国社会就労センター総合研究大会	全国社会福祉協議会	青森県	支援課長	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・工賃向上・受注拡大をいかに実現するか ・ユニバーサル農業の実践に見る農福連携の可能性
10/22	障がい者就労支援事業所職員のための営業基礎研修	NPO 法人日本セルプセンター	仙台市	職業指導員	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・営業に必要なビジネスマナー ・営業で話す商品、サービス ・営業ロールプレイング
11/28	食品衛生管理責任者養成講習会	食品衛生協会	久慈地区合同庁舎	生活支援員	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生の法律・行政と食品衛生責任者の役割 ・食中毒予防と衛生管理

1/25	工賃引き上げセミナー	岩手県社会福祉協議会	ふれあいランド岩手	生活支援員	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・食品開発基礎講座 ・お客様の心に訴える商品販売
1/31	食品の付加価値向上セミナー	県北広域振興局水産部	久慈地区合同庁舎	施設長	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCP 制度化の対応について ・消費税軽減税率制度について
2/12	園芸労働力確保支援対策事業実績検討会	県北広域振興局農政部	JA 新いわて久慈支所	施設長	1名	平成 30 年度農福連携実証に係る実績検討

平成30年度 チャレンジドセンター久慈事業報告

1. 障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）実施結果

区分	計画内容	具体的実施状況
1 人件費	主任就業支援担当者1名、就業支援担当者2名を配置し、以下の業務を行う。	主任就業支援担当者1名、就業支援担当者2名を配置し、以下の業務を行った。
2 事業費	<p>○障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行う。</p> <p>○事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う。</p> <p>○障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする。</p> <p>○在職中の対象障害者を対象に、グループワーク等で職場での悩み等を話し合う交流の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定着の促進を図る。(年5回)</p>	<p>○障害者からの相談・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象障害者数 133名 ・相談支援件数 2,230件 ・就職件数 25件 <p>○事業主に対する助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象事業所数 63社 ・相談支援件数 209件 <p>○職場実習等のあっせん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あっせん件数 25件 <p>○主な相談支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力企業を中心に支援への協力を働きかけ、職場実習を行った。 ・再就職に向けた取り組みや職場説明会・事業所対象研修会を開催し就職への支援を行った。 <p>○在職中の支援対象者を対象として、年5回以下の事業内容で開催した。</p> <p>第1回 平成30年5月24日(木) 「ストレス解消法・気分転換の方法」 在職者…9名参加</p> <p>第2回 平成30年8月24日(金) 「健康な体をつくるためには」 在職者…8名参加</p>

	<p>○ 障害者就業・生活支援センターにおける就業支援担当者経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行う。(就業支援担当者1名)</p> <p>○ その他、岩手県並びに関係機関及び団体が主催する会議・研修に参加し資質の向上に努める。 (主任就業担当者1名、就業支援担当者2名)</p> <p>○業務の円滑かつ有効な実施に資するため、岩手労働局、ハローワーク、岩手障害者職業センター、県北広域振興局、久慈市、洋野町、野田村、普代村、等の関係機関との連携を図る。</p> <p>○ 久慈地域障害者自立支援協議会就労分科会と連動しての連</p>	<p>第3回 平成30年10月20日(土) 「あなたも巻き込まれる可能性のある犯罪の事例と対処法」 在職者…7名参加</p> <p>第4回 平成30年12月15日(水) 「会社で使える上手な話し方」 在職者…7名参加</p> <p>第5回 平成31年2月16日(土) 「私の仕事報告会」 在職者…6名参加</p> <p>平成30年11月21日～22日まで主任就業支援担当者1名が参加し、精神科医療機関と連携のあり方などについてなどについて学んだ。</p> <p>岩手県障害者就業・生活支援センター連絡協議会主催の定期研修会に参加し、資質の向上に努めた。</p> <p>就労支援ネットワーク会議を以下のとおり開催し、関係機関との情報交換を行った。 第1回 平成30年5月17日(木) 議 題 ・平成29年度事業報告について ・第1回事業所対象研修会について ・第2回事業所対象研修会について ・第1回職場説明会について ・第2回職場説明会について</p>
--	--	--

	<p>絡会議を開催し、関係機関との連携を図る。</p> <p>(年5回)</p> <p>○ 久慈地域障害者自立支援協議会の各分科会と連携を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業アンケートについて <p>第2回 平成30年7月5日(木)</p> <p>議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回職場説明会について ・第2回事業所対象研修会について ・第2回職場説明会について ・第2回在職者交流会について ・企業アンケートについて <p>第3回 平成30年9月27日(木)</p> <p>議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回職場説明会について ・第2回事業所対象研修会について ・企業アンケートについて ・第3回在職者交流会について <p>第4回 平成31年1月29日(火)</p> <p>議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回在職者交流会について ・2019年度久慈地区障がい者就労支援ネットワーク事業計画(案)について <p>第5回 平成31年3月7日(木)</p> <p>議 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度久慈地区障がい者就労支援ネットワーク事業計画(案)について ・2019年度第1回事業所対象研修会について ・2019年度第1回在職者交流会について
--	---	---

2. 障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業）実施結果

支援対象者数	133名 (登録解除者14名)	障がい種別ごとの 対象者数	身体18名 知的64名 精神33名 その他18名
新規支援者数	29名	障がい種別ごとの 対象者数	身体 3名 知的8名 精神16名 その他 2名
継続支援者数	118名	障がい種別ごとの 対象者数	身体15名 知的65名 精神23名 その他15名
相談件数	2,406件	内訳	家庭訪問 87件 職場訪問 224件 その他 2,095件
相談内容	<p>(1) 主に就労面を中心とする相談 2,230 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離職者や求職者への就労に向けた生活状況の確認や助言等 ・在職者への通勤方法や職場の人間関係への相談支援や助言等 <p>(2) 生活面を中心とする相談 176 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日の生活の相談支援や助言等 ・通院に関する相談支援や助言等 		
基礎訓練実施者数及び実施施設	実施施設	就労継続支援事業B型事業所 みずき園	実施者数 0 名
	実施施設	就労継続支援事業B型事業所 松柏園	実施者数 0 名
	実施施設	就労継続支援事業A型事業所 あすリード本舗	実施者数 0 名
関係機関との連携状況 (主な事例及び連携の内容について記載)	<p>支援対象に合わせ、県内の就業・生活支援センターや久慈地域障害者自立支援協議会就労支援分科会、各相談支援専門員と連携し支援を行っている。</p> <p>(1) 資格取得や通勤等に係る支援。</p> <p>(2) 一人暮らしや結婚生活等の生活技術に関する支援。</p> <p>(3) 年金申請等の権利擁護に関する支援を相談支援専門員など関係機関と連携して行った。</p>		

3. 相談支援事業実施報告

(登録者数)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	154	32	0	105	15	1	0	1
障害児	0	0	0	0	0	0	0	0
計	154	32	0	105	15	1	0	1

(支援方法)

支援方法	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	244	46	28	115	61	188	214	0	896

(支援内容)

支援内容	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援
件数	714	10	45	77	1	25	12	30	23
支援内容	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計					
件数	2	18	0	957					

(その他)

	巡回相談出席	関係機関会議出席	研修会等出席	ケア会議(I)	ケア会議(II)	専門機関への紹介	計
件数	1	26	11	8	180	0	226

4. 職員研修の状況

(1) 施設内研修

実施日	研修名	講師	参加職種	参加人数	研修内容
4月3日	職員研修	稲村 布美子	全職員	7名	・会計計算書の見方について
9月25日	復命研修	熊谷 沙紀	全職員	6名	・相談支援専門員とソーシャルワーク
1月4日	復命研修	熊谷 沙紀	全職員	6名	・メンタルヘルスについて

(2) 施設外研修

実施日	研修名	主催者	場所	参加職種	参加人数	研修内容
4月27日	平成30年度第1回岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会総会及び合同研修会	岩手県障害者・生活支援センター連絡協議会	盛岡市ふれあいランド 岩手	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー 生活支援ワーカー	3名	講演 『高次脳機能障害の基本的理解と支援について』
5月24日	平成30年度第1回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	相談支援専門員 生活支援ワーカー	2名	講義 『久慈地域における自殺対策の取り組みとネットワーク活動の重要性』
6月18日	平成30年度岩手県障害者地域生活支援事業連絡協議会定期総会第1回研修会	岩手県障害者地域生活支援事業連絡協議会	盛岡市ふれあいランド 岩手	相談支援専門員	1名	講義 『報酬改定等に係る各地域の取り組み状況を情報交換してみよう』
6月21日	平成30年度第2回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	相談支援専門員 生活支援ワーカー	2名	『生活困窮者への対策と支援』

7月19日	平成30年度第3回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	相談支援専門員	1名	講話 『アルコールとこころとからだの健康について』 実践報告
8月23日	平成30年度第4回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	三陸鉄道	生活支援ワーカー 就業支援ワーカー	2名	『被災地のこころのケアと支援者のこころの健康づくり』
9月13日	平成30年度岩手県障害者地域生活支援事業連絡協議会第2回研修会	岩手県障害者地域生活支援事業連絡協議会	ふれあいランド岩手	就業支援ワーカー	1名	講演 『相談支援専門員とソーシャルワーク』
9月20日	平成30年度第5回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	就業支援ワーカー 相談支援専門員	2名	講演 『がん患者と家族の支援について』
9月21日	平成30年度岩手県障害者就業・生活支援センター連絡協議会 第2回職員研修会	岩手県障害者就業・生活支援センター連絡協議会	盛岡市ふれあいランド岩手	主任就業支援ワーカー 就業支援ワーカー 就業支援ワーカー	3名	『平成30年度障害者雇用施策について』 『障害者職場実習支援事業について』 『助成金の改正について』 等
10月18日	平成30年度宮古圏域地域生活支援セミナー	宮古圏域障がい者自立支援協議会	休暇村陸中宮古	所長 主任就業支援ワーカー	2名	『障がい者就労について考える』
11月15日	平成30年度第7回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	就業支援ワーカー	1名	講演 『自殺未遂者やハイリスク者への支援とそのポイント①』

11月21日	平成30年度障害者就業・生活支援センター北海道・東北ブロック経験交流会議	青森労働局	青森県観光物産館アスパム	主任就業支援ワーカー	1名	講演 『効果的な就労支援のための精神科医療機関との情報共有について』 等
11月9日	第17回東北・北海道ブロック障害者就業・生活支援センター連絡会北海道大会	第17回東北・北海道ブロック障害者就業・生活支援センター連絡会青森大会実行委員会	青森県観光物産館アスパム	主任就業支援ワーカー	1名	シンポジウム 『精神科医療機関との連携について』 グループワーク 『精神障害者の就労支援における連携』
12月7日	若年労働者を対象とした意見交換会	久慈雇用開発協会・久慈公共職業安定所	久慈グランドホテル	就業支援ワーカー	1名	講演 意見交換
12月13日	平成30年度第8回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	就業支援ワーカー	1名	講演 『自殺未遂者やハイリスク者への支援とそのポイント②』
1月24日	平成30年度第9回久慈地域メンタルヘルス・サポートネットワーク連絡会	岩手県久慈保健所	久慈地区合同庁舎	就業支援ワーカー	1名	講演 『自殺対策の推進に向けた取り組み』
2月1日	平成30年度第2回岩手県障害者就業・生活支援センター連絡協議会及び岩手県就労移行支援事業所連絡会との合同研修会	岩手県障害者就業・生活支援センター連絡協議会	メトロポリタン盛岡	所長 主任就業支援ワーカー 生活支援ワーカー	3名	講演 『障がい者就労活動の実践報告』